

「認知症の人にやさしいまち・うじ」を一緒につくりませんか？

宇治市認知症アクションアライアンス

れもねいど (Lemon-Aid)



加盟登録のしおり

認知症とは・・・

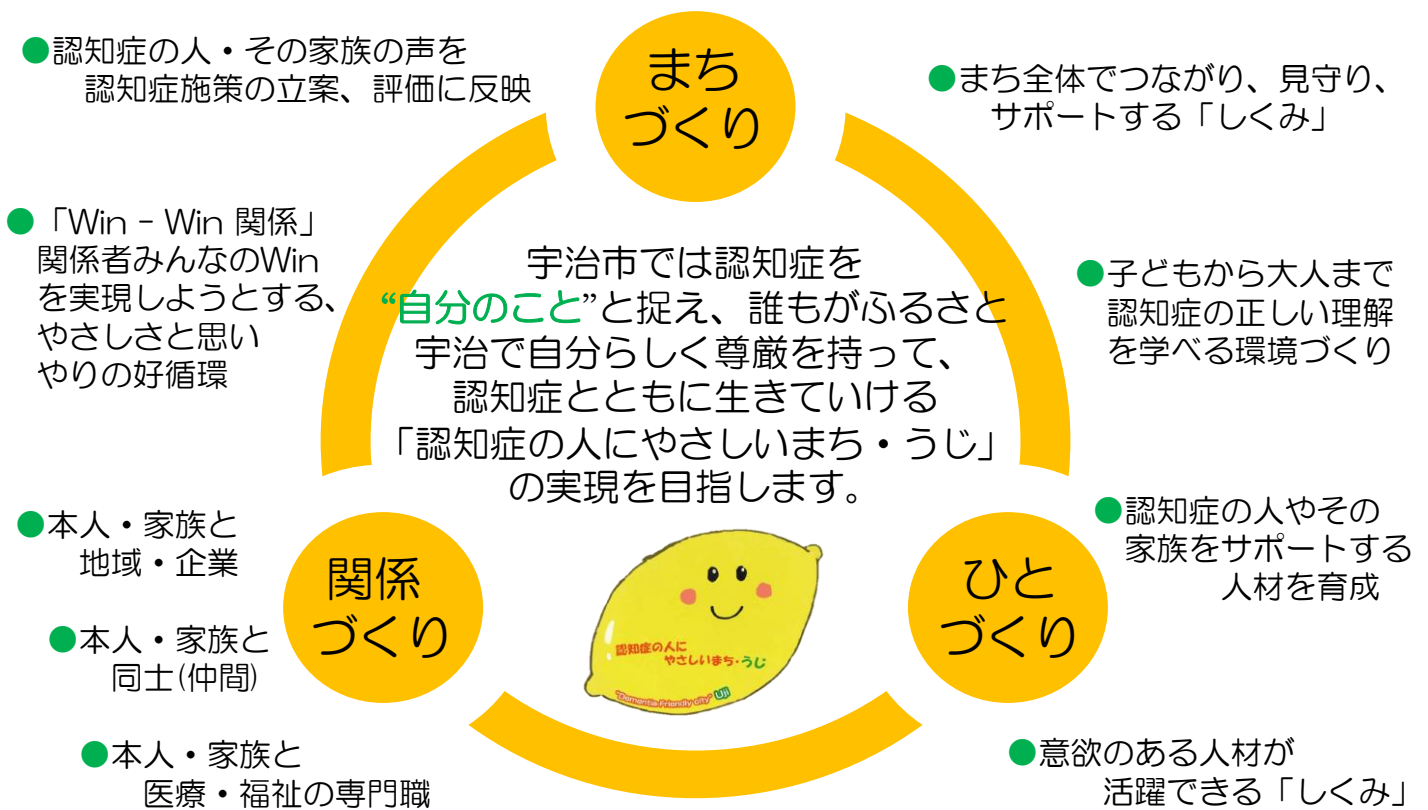
脳は人間の活動をコントロールしている司令塔です。

認知症はいろいろな原因で、脳の細胞が壊れてしまい、記憶や理解、判断などの認知機能が低下することで日常生活に支障をきたした状態をいいます。

認知症の人は、わたしたちと同じまちに暮らす「生活者」です。周囲の正しい理解とサポートによって、“できること”の可能性を大きく広げることができます。そのため、医療・福祉・介護といった専門的ケアの分野だけでなく、わたしたちの生活に関わるすべての分野で認知症を正しく理解し、それぞれの立場から出来ることを考え、行動（アクション）することが大切になります。

認知症アクションアライアンスとは・・・

これまでの専門的ケアの分野での連携に加えて、市民や様々な業種が幅広く参加し、つながる広範囲なネットワークが必要となります。こうした取り組みは、すでにイギリスで先進的に取り組まれており、DAA「Dementia Action Alliance（認知症行動同盟）」と呼ばれています。



宇治市が目指す
「認知症の人にやさしいまち」

●加盟に関するご案内・確認事項

1. 申請者について

宇治市で活動をされている事業者及び団体にご登録いただけます。
(事業所や事務局の所在地が宇治市内でなくても申請いただけます。)



2. “れもねいど”の取り組みの確認

I 正しい理解

認知症の正しい理解と高齢者への接遇向上のため、職員やメンバー、利用者に対して『認知症あんしんサポーター養成講座』の受講をお願いします。

II 見守る

高齢者の異変に気づいた場合、市又は地域包括支援センターへ連絡・相談をお願いします。

認知症等による高齢者の行方不明の発生時に対象者の発見・通報にご協力をお願いします。(宇治市SOSネットワークへの任意協力)

III 行動する

認知症の人やその家族の視点に立った自発的な活動をお願いします。

特別なことは必要なく、無理のない範囲で、日々の業務や活動の中でのアクションをお願いします。

3. 加盟登録をする事業者の情報

担当者情報には“れもねいど”におけるやり取りやSOSネットワークの協力依頼を送らせていただく担当者を記載してください。

4. 店舗・営業所等の情報

事業者情報に記載いただいたものと別に宇治市内に店舗・営業所等がある場合はそれぞれ記載してください。登録手続き完了後、宇治市内の店舗・営業所等の数にあわせてステッカーをお渡しします。店舗・営業所等のわかりやすいところに掲示ください。

5. “れもねいど”サービス(アクション)計画書

難しいことや大がかりな内容でなくて結構です。認知症の人に対するやさしさにつながることであれば、些細なことで結構ですので記載してください。もちろん既に実施いただいていることでも結構です。

●加盟登録の流れ



◀れもねいど加盟
ステッカー

申請

・申請書にご記入いただき、宇治市長寿生きがい課の窓口または、れもねいど事務局までご提出ください。

登録

・宇治市の「れもねいど加盟企業・団体」に登録された証として、ステッカーをお渡ししますので、各店舗等で、掲示してください。

活動

・適宜、宇治市の認知症事業やSOSネットワークの件で、メールまたはFAX、郵送にてお知らせをお送りいたします。出来る範囲でご協力いただきますようお願いいたします。

宇治市認知症アクションアライアンス れもねいど活動例



～皆さまの思い・行動(アクション)で「認知症の人にやさしいまち・うじ」がつくられています～



小売・販売

支払い時はゆっくり待ち、商品を探すのに困っている方がいらっしゃれば、積極的に声をかけします。



交通

移動中に、季節外れの服装をされた方や今までと様子が違う方がおられた場合は、警察や地域包括支援センター、市に情報提供をするなどして協力しています。



製造

認知症の人が、活動できる場を作りたいと思い、自分たちのお茶摘みや農作業を手伝ってもらっています。

金融機関

通帳やカードをなくされたり、ATMの使い方がわからなくなった場合には優しく声をかけ、ゆっくり対応しています。



本人・家族＝生活者

Dementia Action Alliance
認知症行動同盟

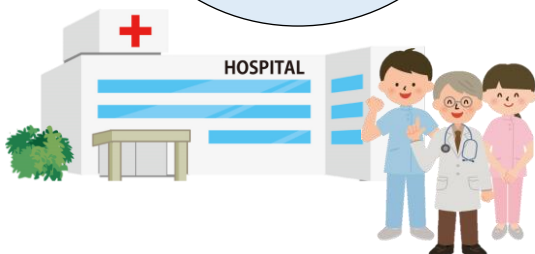
教育機関

心理学を学ぶ学生と、認知症の本人・家族が意見交換できる機会を持っています。



医療機関

毎年新人職員に、認知症あんしんサポーター養成講座を開催しています。全員が正しい理解のもと、認知症の人に接することができるように、心がけています。



介護・福祉

介護者に宇治市の認知症事業を案内したり、利用者と一緒に事業参加したりしています。



飲食店

認知症関連のポスター設置やパンフレットを配架し、普及啓発のお手伝いをしています。市の認知症事業の際、場所を提供して協力しています。



認知症の人にやさしいまち・うじ 宣言

悠久なる宇治川の滔々たるながれ、心安らぐ茶のかおり、宇治には伝統と文化を大切に、そこから新しいものを生み出し、わたしたちのまちを築いてきた風土があります。

超高齢社会を迎え、ある時は認知症の人を支える側として、そしてある時は認知症の当事者として、誰もが認知症とともに生きる時代になりました。

認知症を避けようとすることは、自分自身や周りの大切な人を避けることと同じです。認知症を受け入れ、その人のありのままの姿をしっかりと見ることによって、認知症とともに生きる技術、知恵、文化を築くことができます。

認知症になっても、これまでの人生で積み重ねた知識や経験を活かしてできることがたくさんあります。なにより、認知症の人が自ら語り、心豊かに暮らしている姿は、わたしたちの未来を明るく照らす道標になります。

わたしたちは約束します。

- 一、認知症の人の想いやその人らしさを尊重し、思いやりをもって行動します。
- 一、認知症を正しく理解し、世代や立場を超えてつながり、まち全体で支えます。
- 一、認知症の人が人生の最期まで安心して暮らせるまちを共につくります。
- 一、認知症になっても、希望や生きがいを持って認知症とともに生きていきます。

この約束をわたしたち一人ひとりが深く心に刻み、誰もがふるさと宇治で自分らしく、尊厳を持って、認知症とともに生きていける「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために歩み続けることを宣言します。



平成27年3月21日
宇治市

あなたのアクションが「認知症の人にやさしいまち・うじ」をつくれます

2025年には、高齢者のうち認知症の人は5人に1人になると推測されています。認知症はもはや「全ての人が関わること（everyone's business）」になりました。

あなたの家族、近所の顔見知りの人、そしてあなた自身が、認知症になっても、馴染みの顔に囲まれ、行きたいところへ行き、会いたい人に会える。そんな、こころ豊かに暮らせる社会をつくっていくのは、わたしたち一人ひとりです。

あなただからできることがあります。思いやりのこころを持ったアクションは、認知症の人の心に届いて、お互いを笑顔にする力があります。

あなたのアクションが「認知症の人にやさしいまち・うじ」をつくれます。

加盟に関するご相談、お問い合わせは・・・

宇治市役所 長寿生きがい課

〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内 ☎0774-22-3141 (代表)

れもねいど事務局 (一般財団法人 宇治市福祉サービス公社)

〒611-0021 宇治市宇治琵琶1-3中宇治地域包括支援センター内 ☎0774-28-3686